

# SDGs債(サステナビリティボンド)

## フレームワーク

当社は国際資本市場協会(ICMA)が定めるグリーンボンド原則2018、ソーシャルボンド原則2020及びサステナビリティボンド・ガイドライン2018に基づき、以下のSDGs債フレームワーク(サステナビリティボンド・フレームワーク)を策定しました。

- SDGs債フレームワーク ([https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs\\_framework\\_jp.pdf](https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs_framework_jp.pdf))

## セカンド・パーティ・オピニオン

当社が策定したフレームワークについて、Vigeo Eiris(現ムーディーズESGソリューションズ)より、サステナビリティボンド・ガイドライン等の原則との適合性に対する外部評価(セカンド・パーティ・オピニオン)を取得しました。

- セカンド・パーティ・オピニオン(Vigeo Eiris) ([https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs\\_spo\\_jp.pdf](https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs_spo_jp.pdf))

## レポート

### 資金充当レポート及びインパクトレポート(影響評価報告)(2022年5月)

2021年3月に発行したSDGs債による調達資金USD500Mに関して、SDGs債フレームワーク3.2項に則り、適格事業への取組みに充当しました。また、調達資金が充当された適格事業による環境・社会へのインパクト(効果)を算定しました。

※当社は、国際資本市場協会(ICMA)が定めるグリーンボンド原則2018、ソーシャルボンド原則2020、及びサステナビリティボンド・ガイドライン2018に基づき2021年3月に策定したSDGs債フレームワークに則り、同月にSDGs債(サステナビリティボンド)を発行しています。

※調達資金の使途

本SDGs債の発行によって調達した資金総額と同額を、適格事業である右記取組みに充当致しました。なお、既存事業への充当の場合は、SDGs債の発行から36ヶ月前までの事業に充当しております。

※プロジェクトの評価及び選定プロセス

本SDGs債の調達資金を充当する適格事業は、財務部とサステナビリティ推進部が連携して、調達資金の使途において定める適格基準への適合状況に基づき特定しています。なお当社では環境・社会リスクへの対応として、サステナビリティ委員会の開催と討議・取締役会への報告、事業プロセスにおけるESGリスクの評価、サプライチェーン・サステナビリティ行動指針に則った調査・レビューの実施を行っております。

※調達資金の管理

当社財務部がSDGs債として調達した資金は一般勘定にて適格事業への充当及び管理を行います。当社財務部は、フレームワークに基づき発行されたSDGs債の発行額と同額が適格事業のいずれかに充当されるよう追跡・管理すると同時に、必要に応じて定期的に発行額と充当額が一致するよう調整します。調達資金の全額が適格事業に充当されるまでの間は、現金又は現金同等物にて運用します。リファイナンス案件(カテゴリ1・3/95%)は2021年3月末、新規ファイナンス案件(カテゴリ2/5%)は2022年3月末時点で充当を行い、いずれも充当まで一般勘定にて現金又は現金同等物にて運用していました。

## 発行後レビュー(2022年5月)

当社が作成した資金充当レポート及びインパクトレポートについて、ムーディーズESGソリューションズ(Vigeo Eirisより社名変更)より発行後レビューを取得しました。

- 発行後レビュー ([https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs\\_independent\\_review\\_jp.pdf](https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/sdgs_independent_review_jp.pdf))

●本件に関するプレスリリース (<https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2021/210324.html>)

- 資金充当レポート及びインパクトレポート(影響評価報告)

### 1. 温室効果ガス排出削減に向けた取組(適格グリーン事業区分)

適格事業区分	適格基準	資金充当額(USD/M)	インパクト
再生可能エネルギー	再生可能エネルギーの利用増加	331	発電量/想定発電量 2,428,216MWh 推定CO <sub>2</sub> 削減排出量 1,426,767 t-CO <sub>2</sub> e
	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接排出量が100g-CO<sub>2</sub>/kWh未満の太陽光・風力(陸上・洋上)発電に係る建設・買収・維持・運営費用</li> <li>自家消費型太陽光発電の普及に資する、蓄電池の調達</li> <li>主に太陽光発電の蓄電のための、次世代リチウムイオン電池の製造・開発</li> </ul>		推定CO <sub>2</sub> 削減排出量 265,573 t-CO <sub>2</sub> e

### 2. ファミリーマートにおける温室効果ガス排出削減に向けた取組(適格グリーン事業区分)

適格事業区分	適格基準	資金充当額(USD/M)	インパクト
再生可能エネルギー	再生可能エネルギーの導入	27	推定CO <sub>2</sub> 削減排出量 336 t-CO <sub>2</sub> e
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーマートにおける、店舗屋上への太陽光パネルの設置にかかる設備投資</li> </ul>		
エネルギー効率	エネルギー効率の改善		推定CO <sub>2</sub> 削減排出量 8,467 t-CO <sub>2</sub> e
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーマート店舗における自然又は気候に優しい冷媒を使用した冷凍・冷蔵庫の導入</li> <li>ファミリーマートにおける、店舗LED化にかかる設備投資</li> </ul>		

### 3. 持続可能な食品システム(適格ソーシャル事業区分)

適格事業区分	適格基準	資金充当額(USD/M)	インパクト
持続可能な食品システム	外部認証を取得したコーヒー豆の調達	142	取り扱い認証比率 26%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者の地位向上・フェアトレードを目的とした、レインフォレスト・アライアンスやC.A.F.E. プラクティス等の認証コーヒー豆の調達</li> </ul>		
持続可能な食品廃棄物管理	外部認証を取得した鯉鮪の調達		取り扱い認証比率 3%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産資源の保護を目的とした、MSC(海洋管理協議会)等の認証鯉鮪の調達</li> </ul>		
	グレープシードオイルの調達		—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄処理となっているワイン製造後におけるブドウの種を活用したフランス産グレープシードオイルの調達</li> </ul>		

### 4. 医療サービス・インフラサービスへのアクセスの提供(適格ソーシャル事業区分)

適格事業区分	適格基準	資金充当額(USD/M)	インパクト
ヘルスケア	医療サービスの提供	0	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療サービスの提供を意図した病院の企画立案、設計、保守、医師及び看護師への教育研修支援、患者の教育支援</li> </ul>		
インフラストラクチャーの提供	Mini Grid		—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカの無電化地域に居住する人々に対する電力供給を意図した小規模発電・配電システムの販売・運営</li> </ul>		